

令和7年度6月補正予算(案)の概要

一般会計 ①	1億8,285万3,000円
特別会計 ②	248万6,000円
企業会計 ③	－ 円
合 計	1億8,533万9,000円

(単位 千円)

会 計 区 分		現計予算額	補 正 額	補正後予算額
一 般 会 計 ①		51,191,512	182,853	51,374,365
特 別 会 計 ②	国 民 健 康 保 険 事 業 特 別 会 計 (事 業 勘 定)	8,616,343	－	8,616,343
	国 民 健 康 保 険 事 業 特 別 会 計 (直 診 勘 定)	81,041	－	81,041
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業 特 別 会 計	1,542,327	－	1,542,327
	介 護 保 険 事 業 特 別 会 計	10,150,314	1,936	10,152,250
	診 療 所 事 業 特 別 会 計	294,118	550	294,668
	霊 苑 事 業 特 別 会 計	8,332	－	8,332
	太 陽 光 発 電 事 業 特 別 会 計	107,713	－	107,713
	管 理 会 財 産 区 特 別 会 計	1,865	－	1,865
	小 計	20,802,053	2,486	20,804,539
企 業 会 計 ③	水 道 事 業 会 計 (支 出 分)	4,337,989	－	4,337,989
	下 水 道 事 業 会 計 (支 出 分)	11,044,127	－	11,044,127
	小 計	15,382,116	－	15,382,116
合 計		87,375,681	185,339	87,561,020

主 要 事 業 の 概 要 （ 目 次 ）

No.	事 業 名	ページ
1	生成A I サービスの導入 <u>新規</u>	3
2	街区表示板の更新・設置 <u>新規</u>	4
3	#7119 救急安心センター事業 <u>新規</u>	5
4	竹野地域予約型乗合交通の導入 <u>新規</u>	6
5	フリースクール民間施設運営支援補助金の創設 <u>新規</u>	8
6	商工振興事業費 （地域経済循環創造事業交付金の活用） <u>新規</u>	9

No. 1	事業名 生成 A I サービスの導入	補 正 予算額	1,980 千円
-------	--------------------	------------	----------

1 事業目的、趣旨等

市民からの問合せ対応、企画・立案、たたき台作成、要約・翻訳など従来職員が行う多くの事務作業に活用することができる生成 A I サービスを導入し、問合せ対応の自動化や、文章や書類を自動生成することなどで、職員が従来行っていた事務作業の効率化や質の向上を図り、事務処理誤りの防止及び市民サービスの向上に資する。

2 事業概要

(1) 内 容

企画・立案、たたき台作成、要約・翻訳などの機能を有する生成 A I を導入する。

(2) 事業期間

2025年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

2025年 7 月 公募型プロポーザル実施
8 月 事業者決定
9 月 利用ガイドラインの作成・公開、運用開始

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

1,980千円

No. 2	事業名	街区表示板の更新・設置	補正 予算額	7,425 千円
-------	-----	-------------	-----------	----------

1 事業目的

住居表示に関する法律(昭和37年法律第109号)に基づき、街区表示板を更新・設置することで、地域の明確な住居表示を維持する。

2 事業概要

(1) 内 容

昭和42年設置の街区表示板が老朽化し、破損・滅失しているものが多数あることから、住居表示実施区域における街区表示板の更新・設置を行う。

ア 対象区域：旧豊岡市地域のうち住居表示を実施している区域

イ 街区表示板の更新設置：280箇所(各街区の1号付近)

ウ 設置場所：電柱や市所有の建物など

(2) 事業期間

2025年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

2025年7月～12月 事業者選定・現地調査

2026年1月～3月 表示板作成・設置

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

7,425千円



現在、市内にある表示板（一部）

担当課名【窓口サービス課】（内線2251）

No. 3	事業名	シャープ ナイフイクウ # 7119 救急安心センター事業	補 正 予算額	2,786 千円
-------	-----	----------------------------------	------------	----------

1 事業目的、趣旨等

高齢化の進行等により救急需要が増加するなか、救急搬送の必要性が低い事案が発生している。そのため、救急車の適正利用や救急医療機関の適正受診により、限られた医療資源で住民の命を救うことを目的に、兵庫県が実施主体となり、県内市町と連携し、救急安心センター事業を実施する。

2 事業概要

(1) 内 容

#7119（シャープ ナイフイクウ）に電話をかけることで、医師・看護師等の専門職による24時間365日対応の電話相談を受けることができる。

ア 救急相談（緊急性の有無、応急手当の方法、受診手段等）

（ア）直ちに医療機関を受診すべきか、明日での良いのか等

（イ）救急車を要請するのか、自分で医療機関に行くのか等

イ 適切な医療機関の案内

（イ）適切な診療科目、医療機関、受診時間等の案内

(2) 事業期間

2025年度

(3) 事業主体

兵庫県及び県内の参画市町で構成する「救急安心センターひょうご運営委員会」

※電話相談業務は専門業者へ委託

(4) 今後のスケジュール

2025年 6 月 豊岡市医師会へ説明

転送業務に係る電話設定・運用確認（消防本部）

7 月 事業開始予定

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

2,786千円 ※特別交付税措置1/2

No. 4	事業名	竹野地域予約型乗合交通の導入	補正 予算額	27,104 千円
-------	-----	----------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

竹野地域の鉄道を除く公共交通については、昨年度竹野地域交通再編準備会で意見交換など議論を重ねてきた。この度、竹野地域全域を対象にコミュニティエリアを基本とし、新たな交通モードである竹野地域予約型乗合交通を導入する。

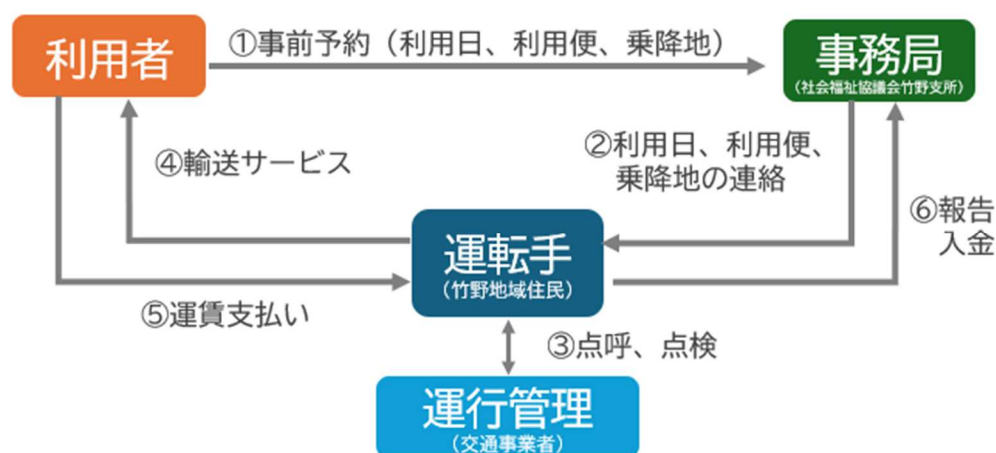
予約受付の事務局は地域の見守りを支える社会福祉協議会が、車両の運転手は地域住民が、運行管理は交通事業者がそれぞれの役割を担い、地域住民の利用者の利便性を図る。さらに相互の良好な関係を築き、竹野地域における持続可能な交通の確保に努める。

2 事業概要

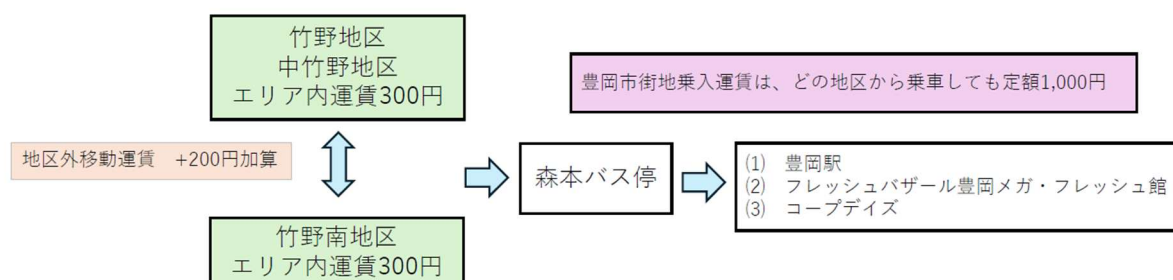
(1) 内 容

利用者が利用日の前日までに事務局へ予約を入れ、事務局から運行する運転手へ予約状況を伝える。運行日に運行管理者は運転手及び車両の点呼、点検を行い、輸送サービスが始まる。運転手は利用者から利用料金を徴収し、事務局へ入金・報告事務処理を行う。

【仕組み】



【区域設定】



(2) 事業期間

2025年10月 1 日～

※2026年度は2025年度下半期、2026年度上半期の利用状況により見直しを図り、以降毎年度見直しを図る。

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

2025年 5 月 地域運営協議会設立、住民説明会開催

9 月 乗車体験会の開催

10月 予約型乗合交通運行開始

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

27,104千円

<財源内訳>

15,672千円 地域公共交通確保維持改善事業費補助金

（「交通空白」解消緊急対策事業）（補助率2/3）

4,100千円 過疎対策事業債（充当率100%） 等

担当課名【都市整備課】（内線2481）

No. 5	事業名	フリースクール民間施設運営支援 補助金の創設	補 正 予算額	1,400 千円
-------	-----	---------------------------	------------	----------

1 事業目的、趣旨等

豊岡市立小学校、中学校、義務教育学校に在籍する不登校(※)児童生徒の、個々の状況に応じた学習環境を確保するとともに、利用するフリースクールの教育活動の充実を図るため、当該施設の運営者に対して運営経費の一部を補助し、当該児童生徒の社会的自立を支援することを目的とする。

※不登校…年間の欠席日数が30日以上となった状態

2 事業概要

(1) 内 容

不登校児童生徒の学びの場もしくは居場所となっているフリースクールの安定的かつ持続的な運営及び充実した教育活動を支援するため、施設の活動のために支出する経費の一部を補助する。

ア 主な補助対象経費

(ア) 配置職員の充実に資する人件費

(イ) 活動の充実に資する経費（教材・教具の整備、施設借上料など）

イ 補助額

補助対象経費の1/2の額（ただし、1施設あたり700千円を限度とする。）

(2) 事業期間

2025年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

2025年 7 月 補助金交付要綱公表

8 月 申請受付開始

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

1,400千円 ※2施設分

3 その他参考事項

2025年 5 月 「フリースクール等利用者支援補助金交付要綱」を施行し、フリースクールを利用している児童生徒の保護者を対象に、授業料の一部の補助を開始している。

事業費 2,400千円（県1/2・市1/2）

担当課名【学校教育課】（内線2721）

No. 6	事業名	商工振興事業費（地域経済循環創造事業交付金の活用）	補正 予算額	10,000 千円
-------	-----	---------------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

2008年に市が整備した「たんたん温泉福寿の湯」の隣接地に民間事業者が行うキャンプ場の整備を支援することで、地域の価値と魅力の向上と、たんたん温泉の利用者増加を図る。

2 事業概要

(1) 内 容

川遊びや山登りなどが楽しめる地域の豊かな自然環境と、「たんたん温泉福寿の湯」という観光資源を活用したキャンプ場を、但東地域の住民が運営する民間事業者が整備する。

国の「地域経済循環創造事業交付金（ローカル10,000）」を活用し、事業者は国と市からの補助金と地域金融機関の融資を受け、敷地造成（12区画）、電気設備、排水設備、トイレ棟を整備する。

(2) 事業期間

2025年度

(3) 事業主体

市内（但東地域）民間事業者

(4) 今後のスケジュール

2025年 8 月 キャンプ場整備着手

2026年 2 月 キャンプ場整備完成

4 月 キャンプ場オープン

【参考】キャンプ場予定地



(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

10,000千円 地域経済循環創造事業交付金（補助率2/3）

※キャンプ場整備にかかる事業費 29,986千円